

令和7年度 園経営計画 足立区千住あずま保育園

園長 山田 早苗

1 園の経営目標

- (1) 笑顔あふれる園生活を通して、「健康な体」「豊かな心」「考える力」を育てる。
- (2) 保育の質の向上をめざし、意欲的に園経営に参画する職員を育成する。
- (3) 地域・保護者から信頼され地域に根差した子育て支援の拠点として、子どもの育ちを支える。

2 園の現状

- (1) 子どもは、一人一人が大切な存在として身近な大人から受け止められ、様々な表現を受け入れられながら、保育園生活を楽しくしている。
- (2) 年齢を問わず、戸外活動を積極的に取り入れており、小動物や植物に触れる体験を通して「命」と出会うことや、運動遊びの楽しさ、異年齢との交流を経験している。
- (3) 保護者とは、ICTの活用により子どもの姿を共有する機会がもてており、このことをきっかけにし、園運営への理解や協力も得られている。
- (4) 職員は互いに助け合い、励ましあって保育を進めており、個々の良さを活かし合っている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	人との関わりの中で、人に対する安心感と信頼感を育む
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 一人一人と応答的に関わる。	ア 「足立区教育・保育の質ガイドライン」を活用し、子どもの権利について職員間で前期・後期に確認をする。 イ 子どもの言葉や思いを先取りせず、言動や行動の意味を理解して、肯定的な気持ちで応答する。
(2) 一人一人の育ちと集団としての育ち合いに見通しをもち関わる。	ア 職員が保育への願いを明確にもち、子どもの実態に即した取り組みができるよう、年間4回の話し合いを行う。 イ ビデオ等を用いて、子どもの姿に応じた、保育者の関りを学び、子どもの意欲が育つ援助について理解を深める。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	様々な体験を通して、豊かな感性や表現力育む
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもが思わずやってみよう！と思えるような環境を整える。	ア 遊びの場作りができるように、可動遊具等を充実する。 イ 大人も一緒に遊びの仲間に入り、楽しさを共有する。 ウ 年間2回各クラスを相互に観察し、意見交換をし、改善に役立てる。
(2) 様々な素材と出会い、直接的な体験ができるようにする。	ア 季節に応じて、野菜や草花の種まきをし、生長、収穫、調理等の体験の喜びと大変さが味わえるようにする。 イ 水・砂・落ち葉・木の実等、多様な素材を計画的に用意し、試行錯誤して様々な体験ができるようにする。
重点的に取り組んでいきたい事項－3	年齢や発達に応じて十分に体を動かして運動あそびを楽しみ、体力の向上を図る。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 一日1時間以上体を動かして遊ぶ	ア 9時まで登園を定着し、生活のリズムづくりを行う。 イ 大人も一緒に体を動かして遊ぶ。 ウ 多様な遊びの提示ができるよう教材研究を行う。